

「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトを活用した事業について

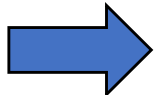
「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトを活用した市内東部エリアにおける実証運行について、実証運行計画（案）及び事業実施について協議するもの

1. 事業名称

「移動の足」確保プロジェクト

2. 事業背景・目的

- 多賀城市内の一部において、バス停から離れた交通不便地域が存在している
- 計画策定時に実施したアンケート等で既存公共交通利用者の半数以上を高齢者が占めており、買い物や通院等の利用目的から日常生活を支える「移動の足」が求められている
- 健康増進や地域との関わりの観点から外出機会の確保が重要視されている

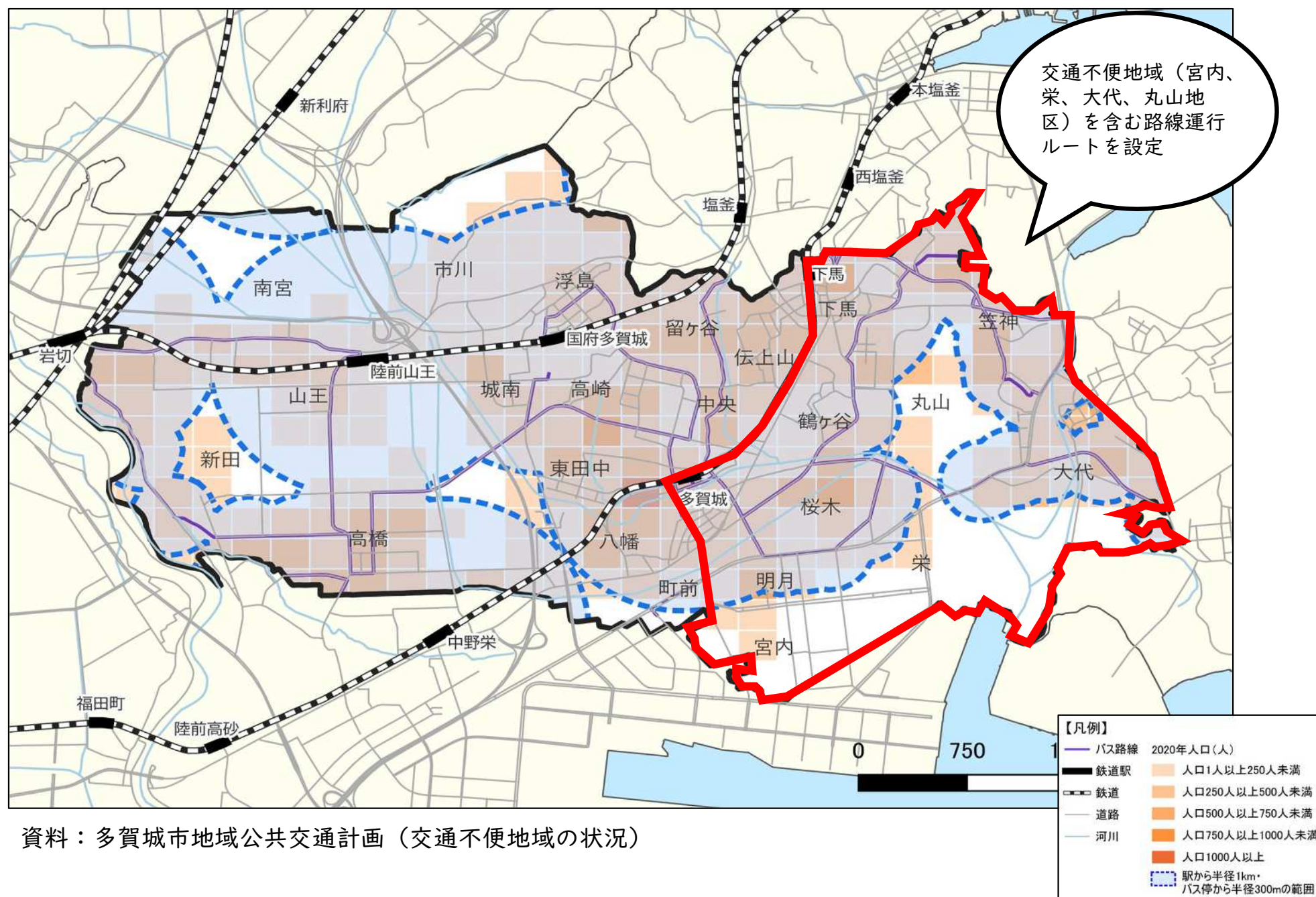


交通不便地域の解消や持続的な高齢者等の「移動の足」確保に向け、実証運行を実施する

3. 事業の方針

- 交通不便地域の解消に資するルートの設定
- 高齢者の生活行動を踏まえた運行内容の設定
- 将来的な公共交通ネットワークの再構築を見据えた実証運行の実施
- 持続可能な運行を見据えた効率的な車両規模の設定

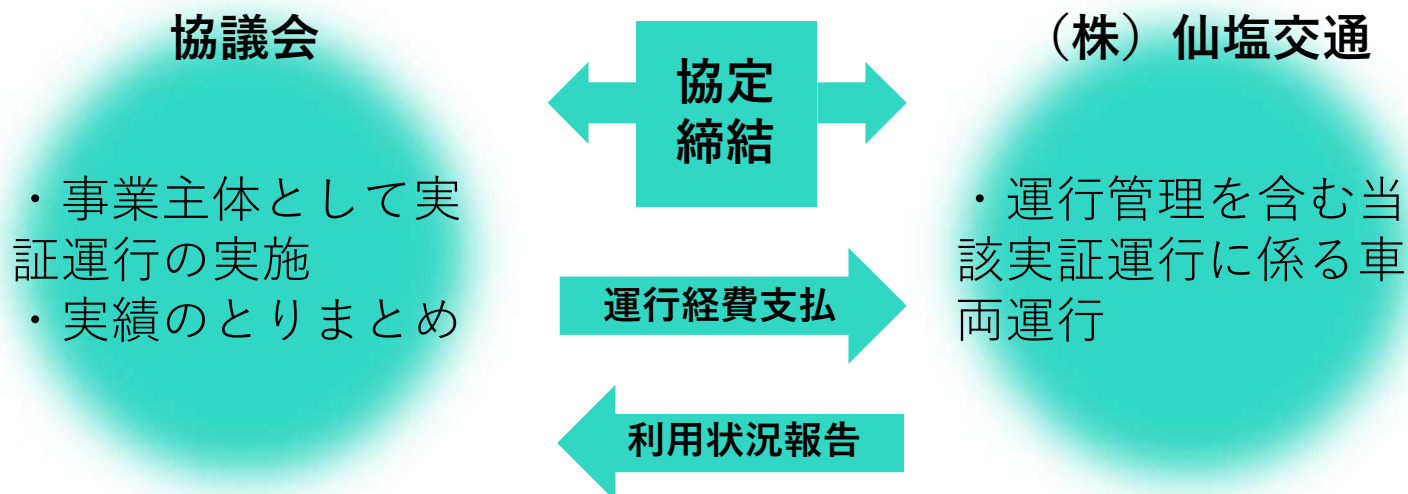
4. 事業対象エリア（交通不便地域の状況及び国庫補助事業の対象期間を踏まえ、市内東部エリアを選定）



5. 車両運行交通事業者

以下の条件を踏まえて対応が可能な一般乗合旅客自動車運送事業の許可を有する事業者を対象として参画可否を確認し、株式会社仙塩交通から対応可能と回答を得たことから同社へ車両運行協力を依頼する。

- 実証後の道路運送法第4条に基づく一般乗合旅客自動車運送事業としての本格運行を見据えた検証
- 一般乗合旅客自動車運送事業の許可を有し、実証運行に必要な運行体制（運転手・車両等）の確保が可能
- 運賃制度として「のるもんパス（65歳以上の市民または障害者手帳をお持ちの市民の運賃全額免除制度）」への対応が可能



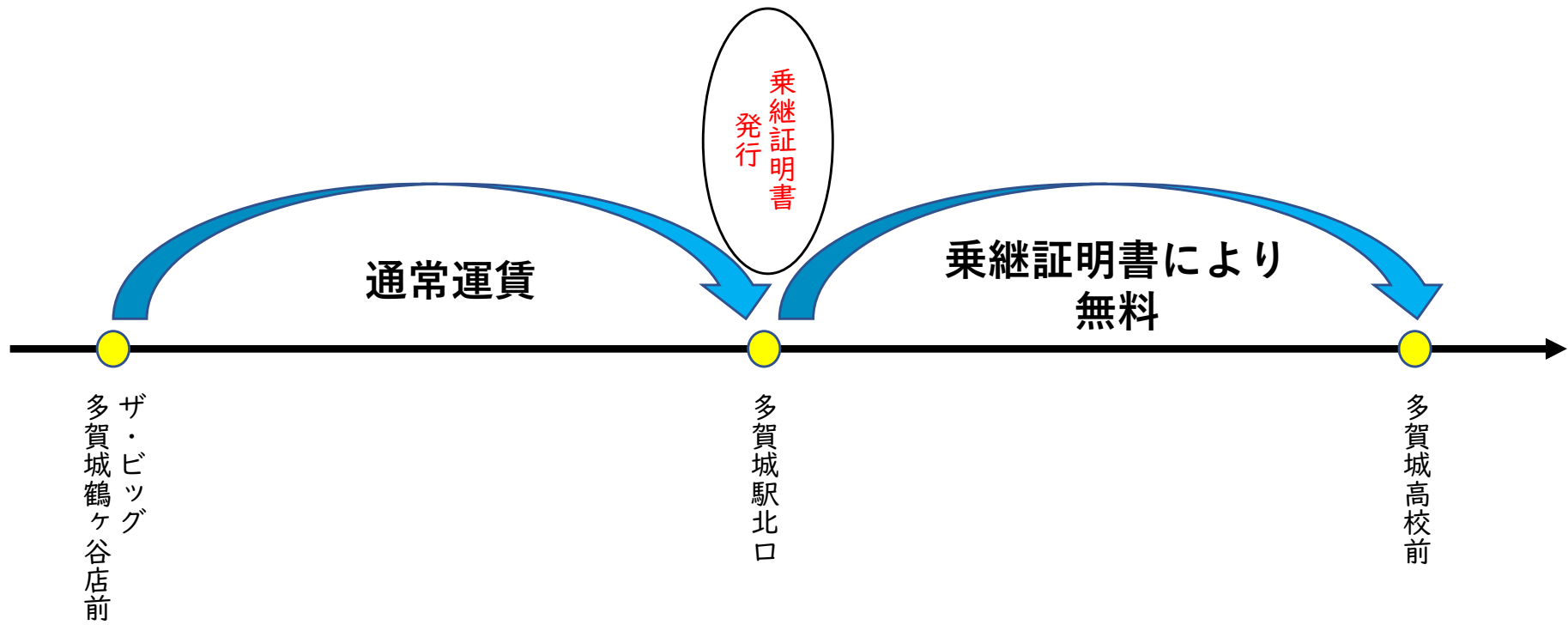
6. 事業内容

番号	項目	内容
1	事業主体	多賀城市地域公共交通協議会（ただし、車両運行については、株式会社仙塩交通で実施）
2	導入する交通サービス	路線バス
3	運行形態	路線定期運行
4	許可区分	道路運送法第21条
5	路線系統名	多賀城東部おでかけ実証便
6	運行ルート概要	起点・終点：多賀城駅北口 主な経由地：市営宮内住宅、明月郵便局、市営桜木住宅、小野屋ホテル、多賀城みずむすび公園、大代地区公民館、多賀城東小、セブンイレブン多賀城笠神四丁目店、多賀城高校、総合体育館、ザ・ビッグ多賀城鶴ヶ谷店 1便当たりキロ程：11.3km 1便当たり所要時間：50分
7	実証運行期間	令和8年10月1日から令和9年1月31日まで
8	運行時間帯	午前10時台から午後3時台まで
9	運行日	平日のみ運行（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（令和8年12月30日から令和9年1月3日まで）を除く）
10	運行便数	5便／日
11	バス停留所数	16か所
12	運賃	・大人（中学生以上）200円 ・小人（小学生）100円 ・未就学児（大人1名につき）2名まで無料 ・障害者（市外在住）半額 ・のるもんパス（65歳以上の市民または障害者手帳をお持ちの市民の運賃全額免除制度）無料 ※一方向の循環路線の特性上、目的地へ到達するために終点である「多賀城駅北口」で一度降車し、次便へ乗車が必要となる利用者に対しては、乗継証明書を交付し、次便への乗継ぎに限り無料（乗継事例参照） ※本格運行へ移行する際には、実証運行の利用状況等を踏まえた適切な運賃を設定する予定
13	運行車両	ハイエース コミューター 1台（仕様参照）

6. 事業内容

【乗継事例】

(例) ザ・ビッグ多賀城鶴ヶ谷店前から多賀城高校前まで



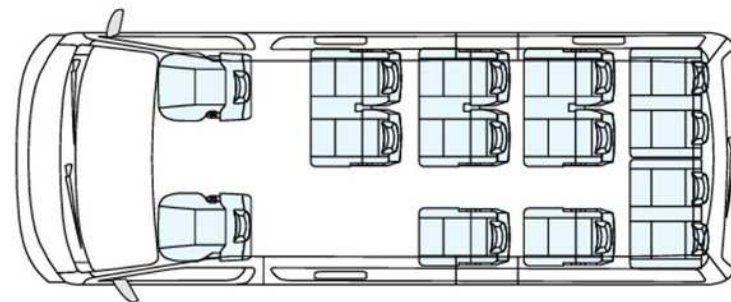
6. 事業内容

【運行車両仕様】

ハイエース コミューター 14人乗り（乗務員席等含む）

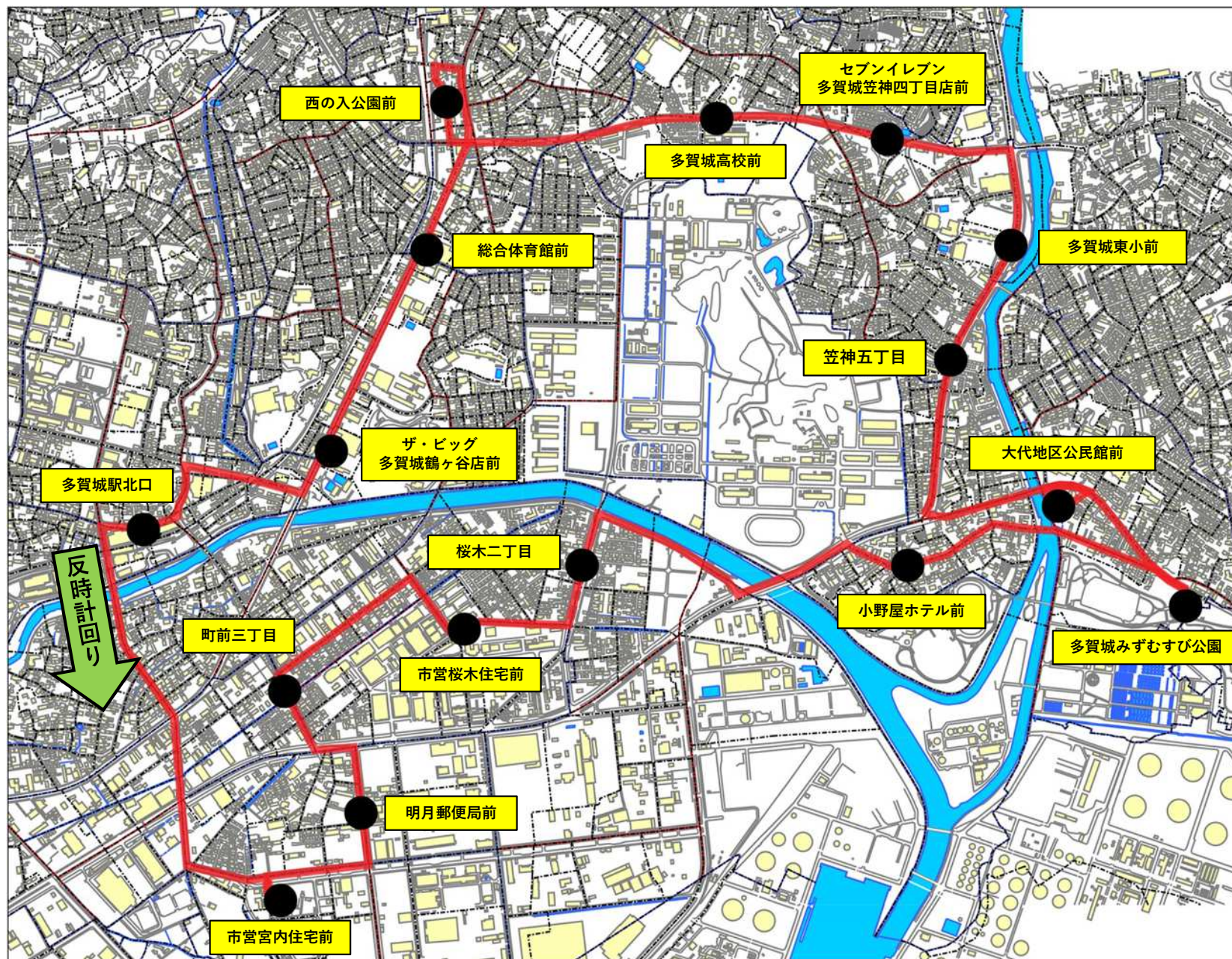


全長5.38m／全幅1.88m／全高2.285m



資料：トヨタ ハイエース WEBカタログ

7. 運行ルート・停留所位置（交通不便地域の解消と生活利便性の向上を目指し、設定）

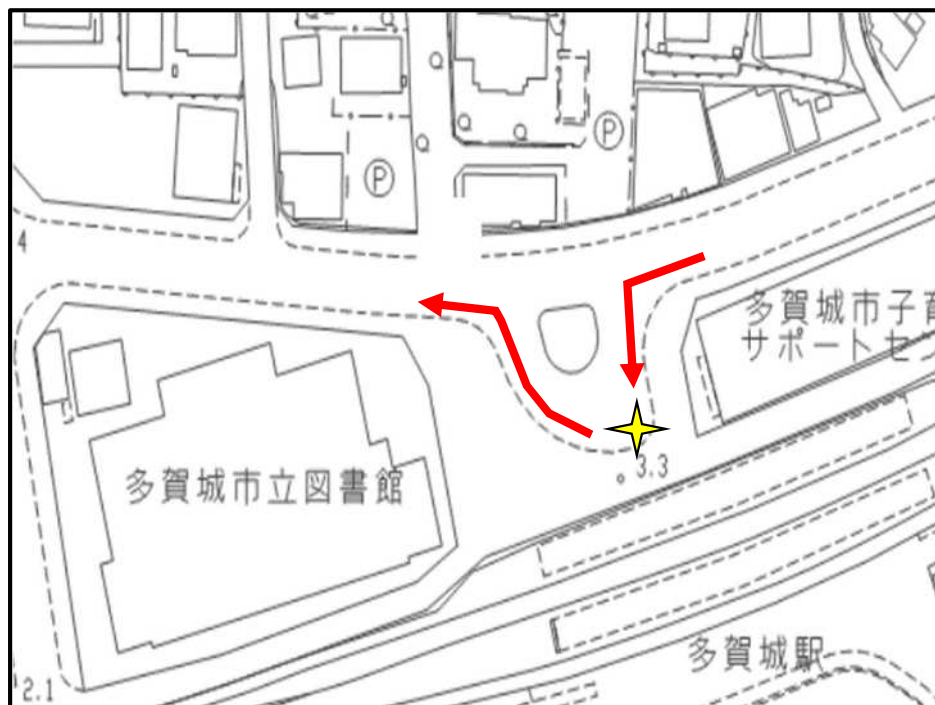


8. 運行ダイヤ（利便性向上のため、「多賀城駅北口」出発パターンダイヤ化）

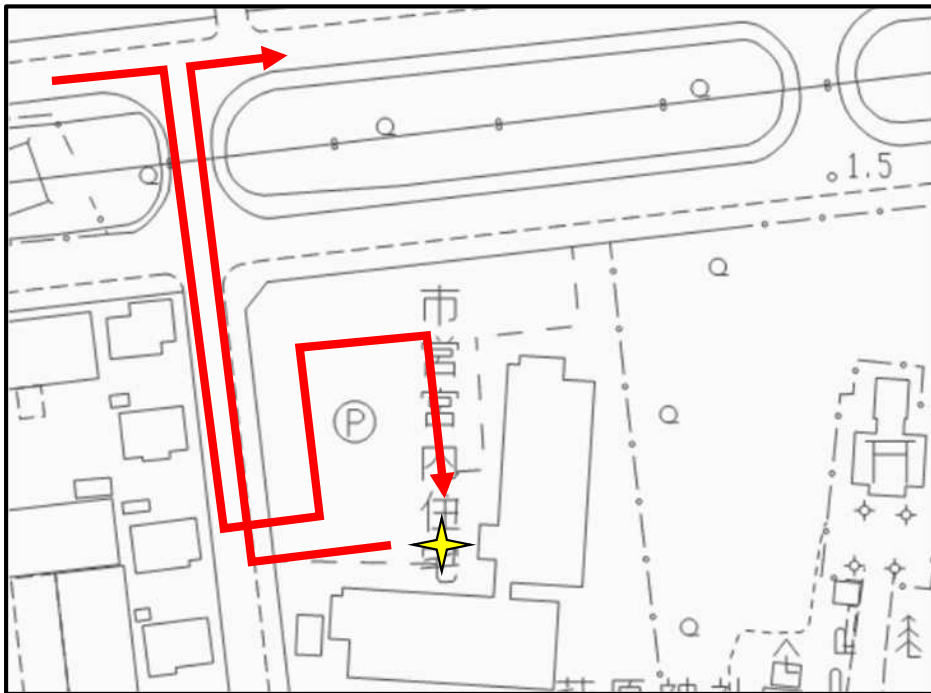
キロ程：11.3km 運行時間：50分

番号	停留所名	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
1	多賀城駅北口	10:00	11:00	13:00	14:00	15:00
2	市営宮内住宅前	10:06	11:06	13:06	14:06	15:06
3	明月郵便局前	10:08	11:08	13:08	14:08	15:08
4	町前三丁目	10:11	11:11	13:11	14:11	15:11
5	市営桜木住宅前	10:13	11:13	13:13	14:13	15:13
6	桜木二丁目	10:14	11:14	13:14	14:14	15:14
7	小野屋ホテル前	10:18	11:18	13:18	14:18	15:18
8	多賀城みずむすび公園	10:21	11:21	13:21	14:21	15:21
9	大代地区公民館前	10:23	11:23	13:23	14:23	15:23
10	笠神五丁目	10:27	11:27	13:27	14:27	15:27
11	多賀城東小前	10:29	11:29	13:29	14:29	15:29
12	セブンイレブン多賀城笠神四丁目店前	10:32	11:32	13:32	14:32	15:32
13	多賀城高校前	10:34	11:34	13:34	14:34	15:34
14	西の入公園前	10:37	11:37	13:37	14:37	15:37
15	総合体育館前	10:40	11:40	13:40	14:40	15:40
16	ザ・ビッグ 多賀城鶴ヶ谷店前	10:42	11:42	13:42	14:42	15:42
17	多賀城駅北口	10:50	11:50	13:50	14:50	15:50

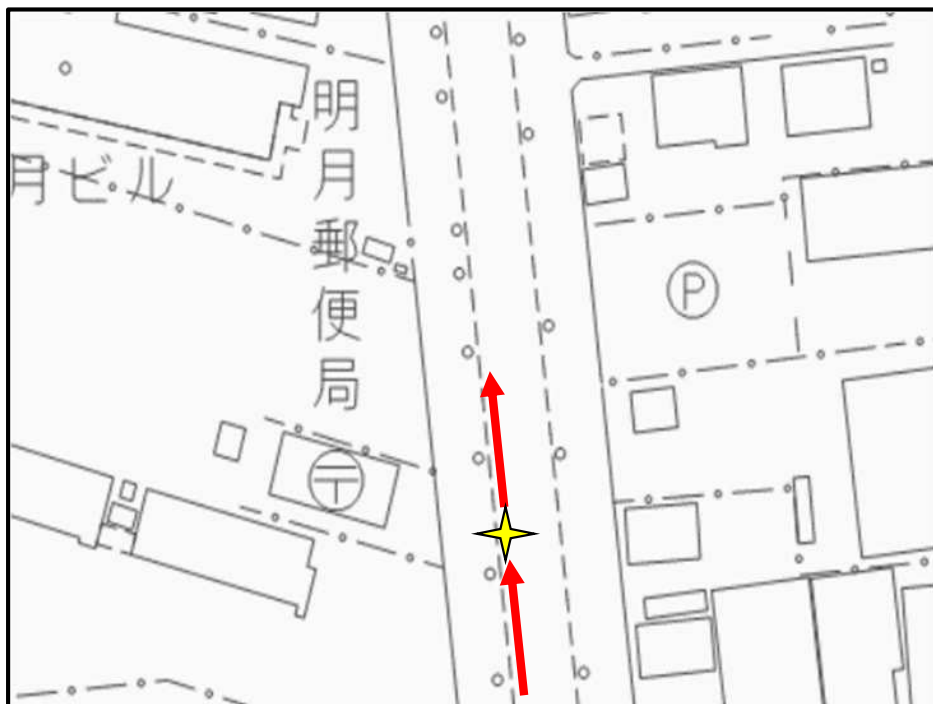
9. 停留所詳細【①多賀城駅北口】



9. 停留所詳細【②市営宮内住宅前】



9. 停留所詳細【③明月郵便局前】



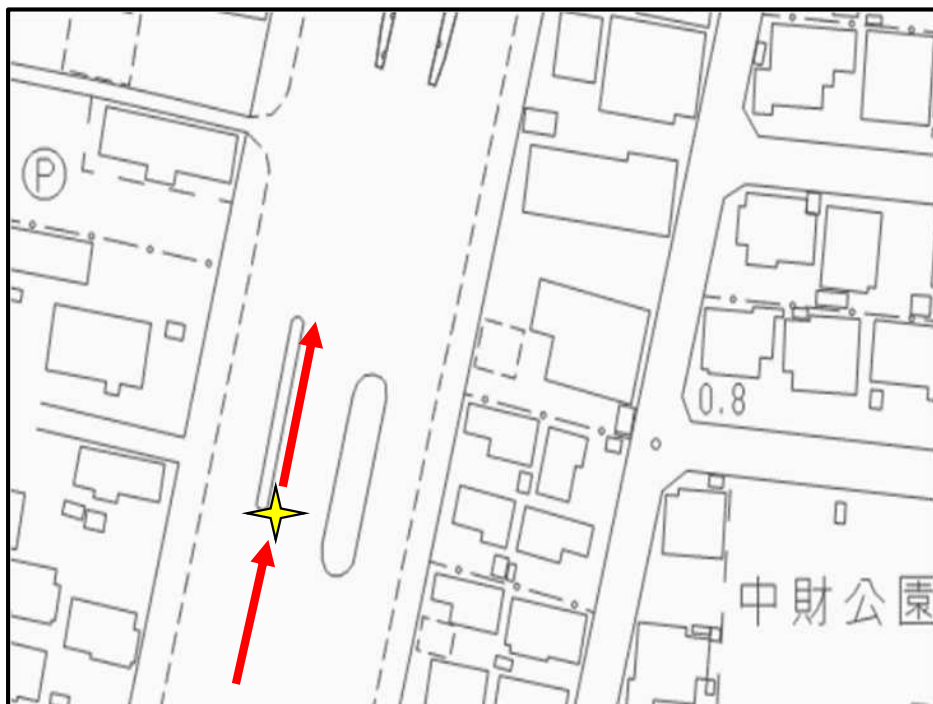
9. 停留所詳細【④町前三丁目】



9. 停留所詳細【⑤市営桜木住宅前】



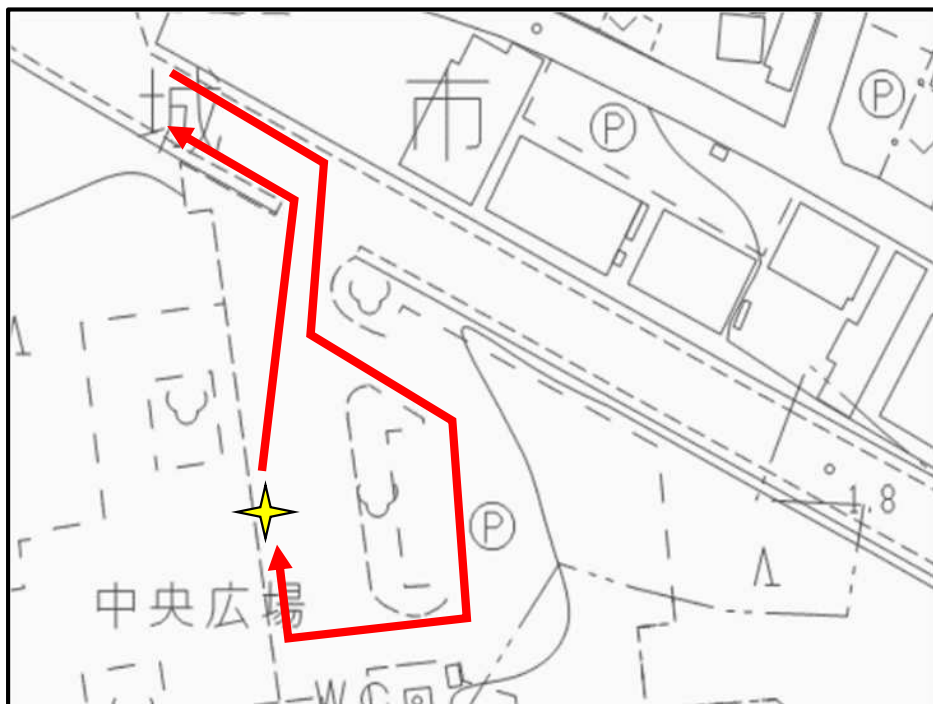
9. 停留所詳細【⑥桜木二丁目】



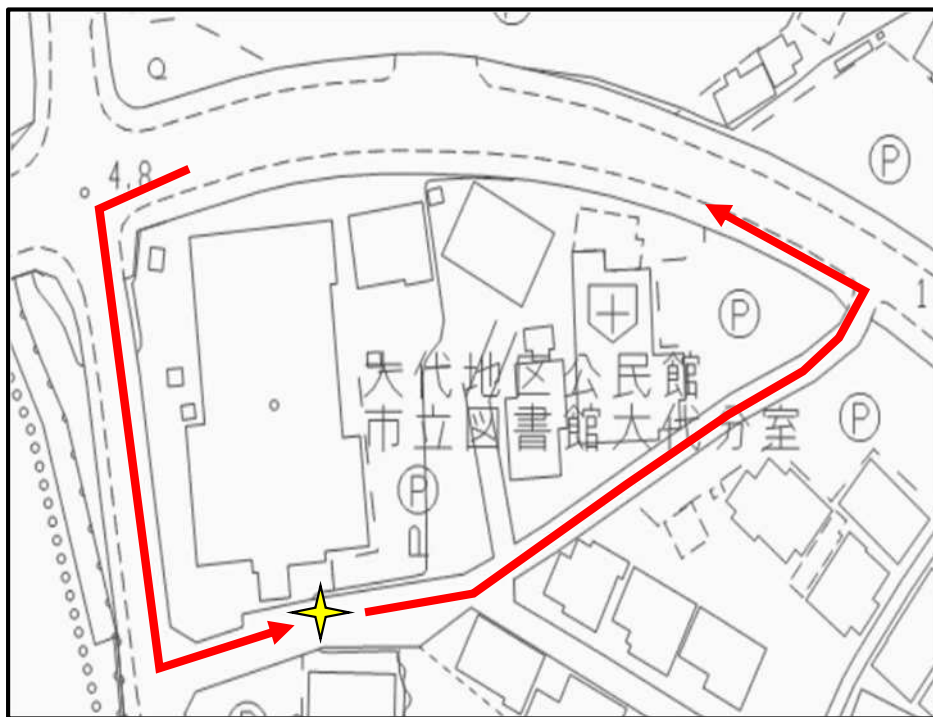
9. 停留所詳細【⑦小野屋ホテル前】



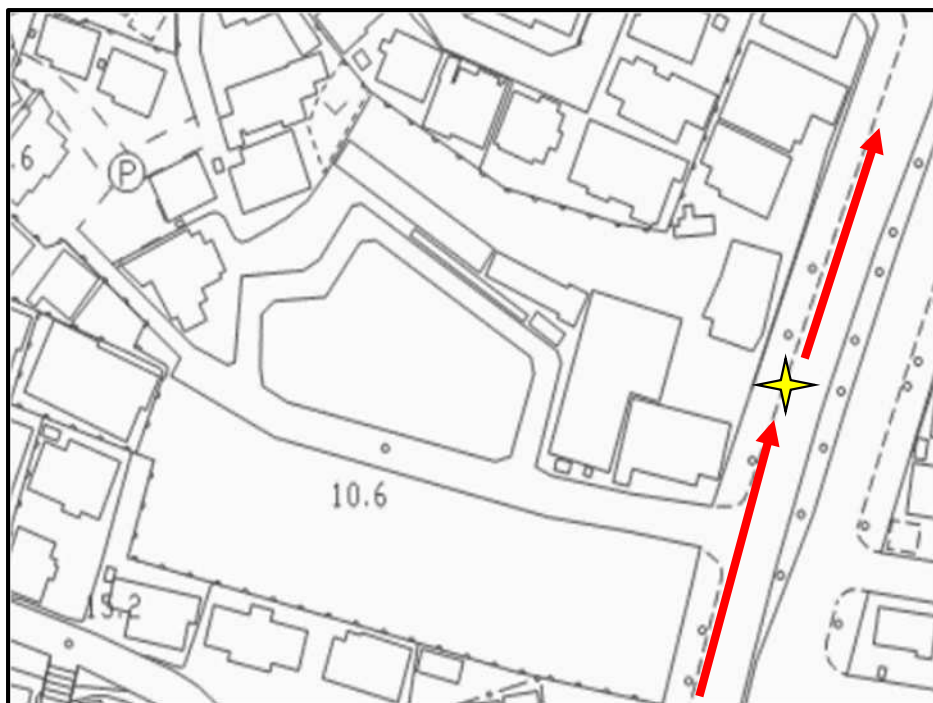
9. 停留所詳細【⑧多賀城みずむすび公園】



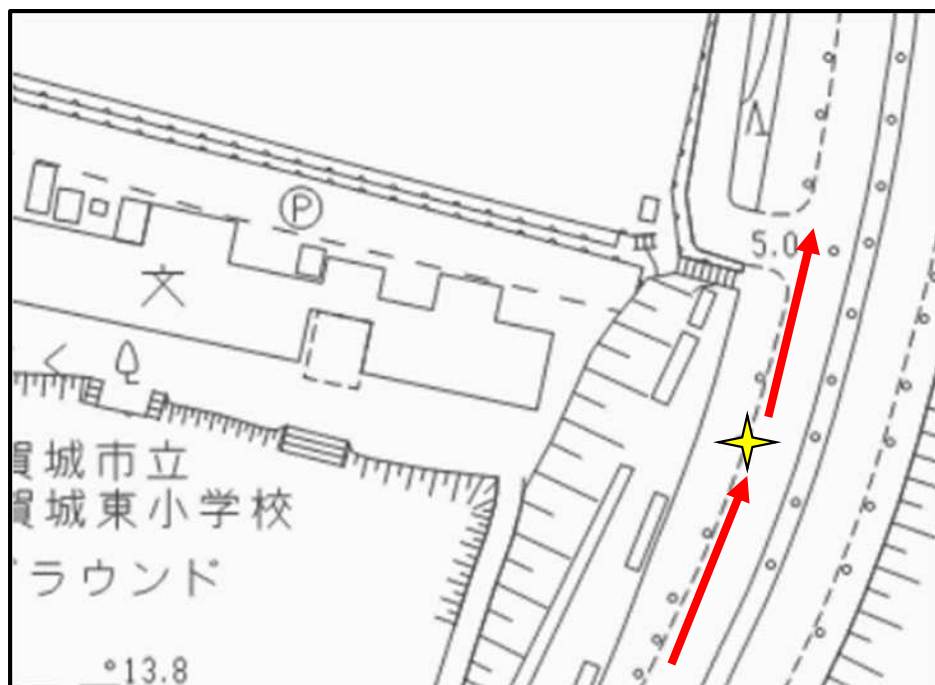
9. 停留所詳細【⑨大代地区公民館前】



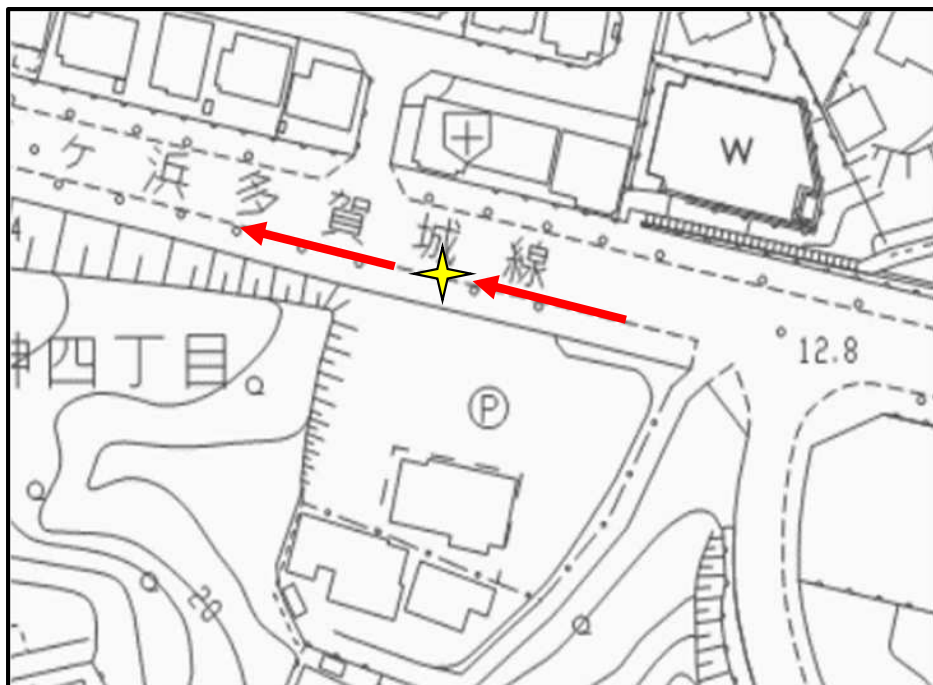
9. 停留所詳細【⑩笠神五丁目】



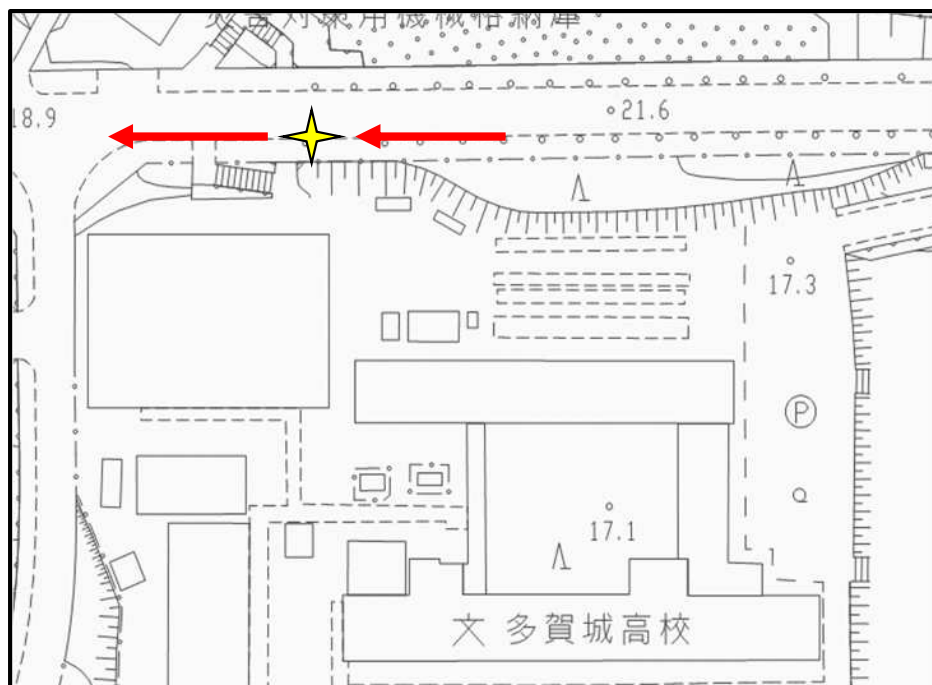
9. 停留所詳細【⑪多賀城東小前】



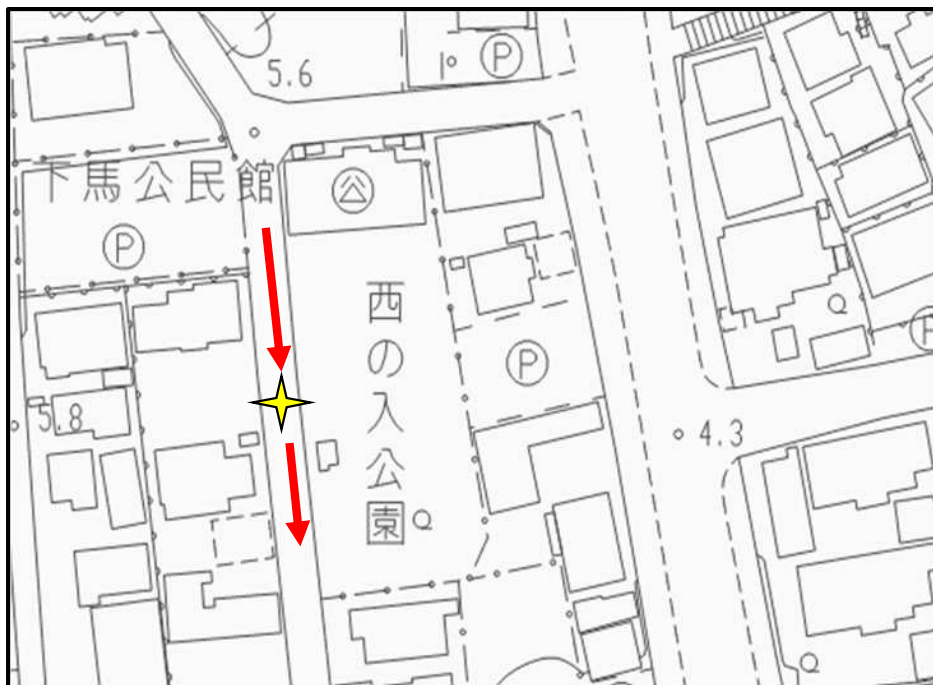
9. 停留所詳細【⑫セブンイレブン多賀城笠神四丁目店前】



9. 停留所詳細【⑬多賀城高校前】

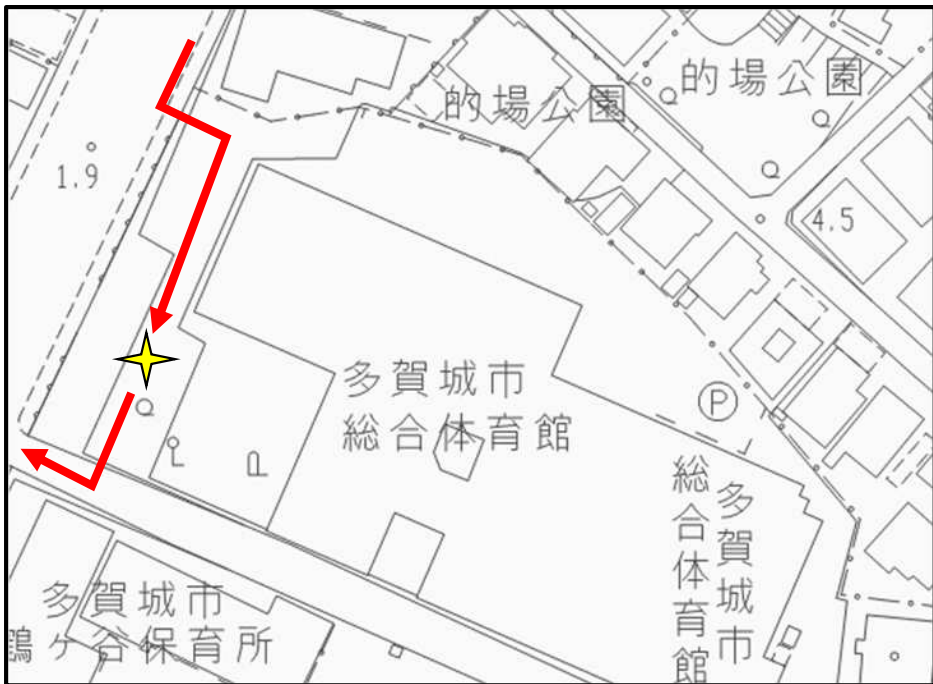


9. 停留所詳細【⑭西の入公園】

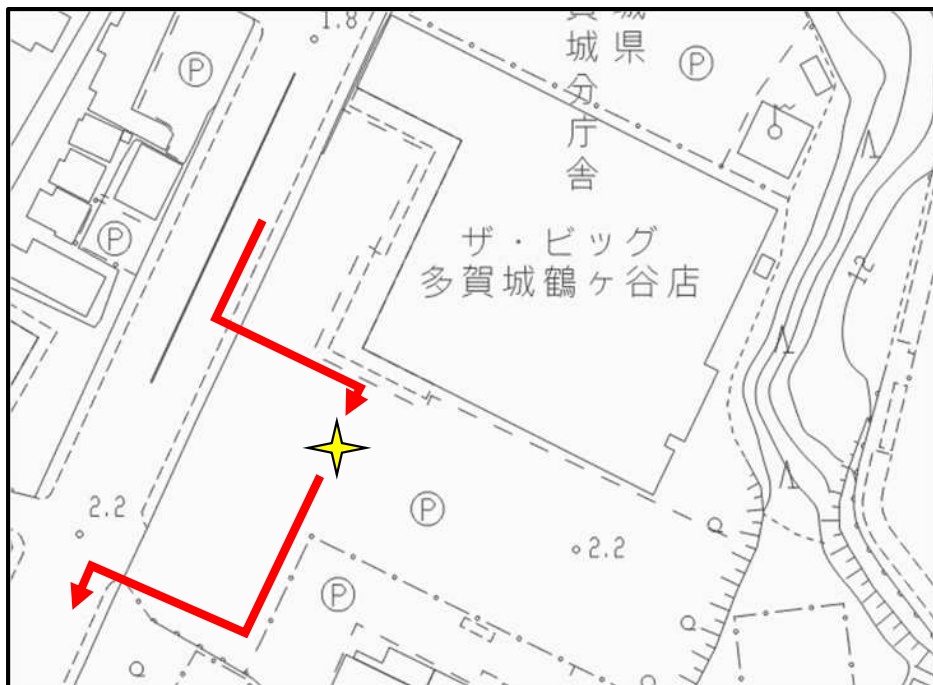


※ 停留所標識については、公園入口や道路への設置が支障となるため、公園管理者と協議し、公園フェンスへの掲出とする。

9. 停留所詳細【⑮総合体育館前】



9. 停留所詳細【⑩ザ・ビッグ 多賀城鶴ヶ谷店前】



10. 事業費用（予定）

番号	区分	金額（千円）
1	運転手人件費	2,750
2	燃料費	218
3	車両維持・修繕費	935
4	日常運行管理費（運行日報処理・運行指示等）	4,406
5	バス停留所設置費	1,650
6	実証運行車両費用（リース）	722
7	その他費用	748
合 計		11,429

11. 財源内訳（予定）

番号	区分	金額（千円）
1	国庫補助金 （令和8年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト）	8,053
2	県補助金（宮城県地域公共交通利活用促進事業費補助金）	763
3	運賃収入※	304
4	市負担金（特別交付税措置対象）	2,309
合 計		11,429

※ 運賃収入については、1便あたり平均8人の利用を想定し、以下の1月あたり利用者割合により算出

大人（200円）45%、小人（100円）5%、のるもんパス50%

（1月あたりの利用者）8人 × 5便 × 20日 = 800人

（大人1月あたりの運賃収入）800人 × 45% × 200円 = 72,000円

（小人1月あたりの運賃収入）800人 × 5% × 100円 = 4,000円

（実証期間（4か月）の運賃収入）（72,000円 + 4,000円） × 4か月 = 304,000円

1 2. 事業効果

本実証運行の実施により、市内の交通不便地域数の減少を図ることとする。

また、利用実績や利用者アンケートにより本実証運行に関する効果を測定するため、評価指標を設定し、実証運行終了後は、事業効果を評価指標（番号2から4）により検証し、目標未達項目については改善策を検討した上で、本格運行への移行可能性を多賀城市域公共交通協議会において総合的に判断する。

番号	評価指標	算出方法	目標値	目標未達の場合の改善策
1	市内の交通不便地域数 (実証運行前7地区)	市内において駅から半径1 km圏、バス停から半径300 m圏を公共交通圏域として算出します。	 【減少】	運行ルート・停留所による代替案検討
2	実証運行の利用者数	利用実績より実証運行1月あたりの利用者数を確認します。	800人/月	運行ルート・停留所・ダイヤ見直しによる代替案検討
3	実証運行の収支率	利用実績より実証運行1月あたりの運行経費と運賃収入を基に、収支率を算出します。	5%以上	運賃設定・運賃収入外財源確保の検討による代替案検討
4	実証運行利用者の満足度	実証運行利用者に対するアンケートにて、満足度を5段階評価（満足している、やや満足している、どちらでもない、あまり満足していない、満足していない）で把握し、「満足している」、「やや満足している」を合算した割合を算出します。	60%以上	運行内容改善による代替案検討

1 3. 事業スケジュール

項目	7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
■補助金交付申請																		
■実証計画作成																		
■各種調整																		
■運行許可申請																		
■実証運行																		
■成果とりまとめ																		
■実績報告																		
★地域公共交通協議会																		